

エヴァンゲリウム・カントライ

Evangeliums-Kantorei

〒251-0861 神奈川県藤沢市大庭 5529-8 シェルマンコーポ 404 小山方

Tel. 070-2834-4304

郵便振替 00100-3-21060

見よ、わたしは新しいことを行う。(イザヤ書 43 章 16~21 節)

山口康友

ここは、主が「新しいことを行う」と力強く宣言され、「…わたしが形造ったこの民は、主の栄誉(賛美)を宣べ伝える。」(イザヤ 43:21)という新約的な宣教のことばで帰結する興味深い箇所です。賛美は、主が「新しいこと」を行われることから生まれてきます。主は出エジプトの時「水の中に通り道」(16)を設け、その道を通して神の民は救われました。「主はご威光の極みまで現された」(出 15:1, 21)と賛美の歌が溢れ出しました。

しかし主はそれ以上のことを行うと宣言されたのです。人類が誰一人として持たず知らなかった新しい救いの道が、イエス・キリストの誕生によって始まりました。神が私たちと同じ肉を取られ、人として私たちの世界へ降りてきてくださった。その時、天の軍勢は神を賛美し(ルカ 2:13)、羊飼いたちは飼葉桶の主イエスに出会い、神をあがめて賛美しました(20)。クリスマスの賛美は全人類に格別に響きます。聞く者は神が今行う「新しいこと」に触れるからです。救い主誕生の証人となるように招きを受けるのです。

賛美は私たちの心の中から生まれるのではなく、神のお働きによって私たちに与えられます。この一年、covid-19の飛沫感染からどのように礼拝者を守るか、人々のつながりをどう確保するのか、試行錯誤しました。インターネットはリアルタイムで中継するツールとして欠かせ

ないものになっています。その中で、主日礼拝の会衆賛美は、賛美自体が感染を広げる行為となりうるというジレンマに私たちは直面しました。教会によって対応は様々です。声を小さく囁くように歌う教会、歌う人と歌わない人をゾーンで分ける教会、そして歌詞を朗読して黙唱する教会。賛美は本来信仰の告白であり宣教そのものです。聖霊により信仰が与えられ、それは口に出して告白され(ローマ 10:10)、多くの人に証しされ、歌われるものです。その出力を小さくするとき、心はムズムズしてしまうことがあります。以前と違うことに疲れています。私たちは以前のような礼拝環境を取り戻したいという欲求が強い者であることを認めなければなりません。しかし神は「新しいことを行」われます。それを受け入れるためには、過去の型や方式を思い出さないうようにとさえ言われます(イザヤ 43:18)。新しいことがなされるために必要なのです。賛美は主が与えてくださいます。主体的に選んだ曲、みことばであっても主のみわざに応答するときそれは授かった歌となります。荒れ地に川の水が流れ始めています。神の新しいことを待ち望みましょう。ウイルスに弱い人もいます。聖霊が働かれるつながりを保ちましょう。私たちは互いに仕え合い、「わたしの栄誉(賛美)を宣べ伝える」ようになるのです。

(カントライ理事 白根福音教会牧師)

「預言する歌を求めて」

石川由紀子

始めに問題です。次のカタカナの名前に共通していることは何でしょうか。

ファラオ、イスラエル、ヤコブ、ペリシテ、エドム、モアブ、カナン、バシャン、エシュルン、ソドム、ゴモラ、ダビデ、アブサロム、シオン、サウル、レバノン、シルヨン、アビメレク、ヨルダン、ヘルモン、ミツアル、コラ人、オフィル、ツロ、アブラハム、タルシシュ、ユダ、アサフ、バテ・シェバ、ナタン、ヒソフ、エルサレム、ドエグ、アヒメレク、ガテ、アラム・ナハラタイム、アラム・ツォバ、ヨアブ、シェケム、スコテ、ギルアデ、マナセ、エフライム、エドトン、ツアルモン、タンバリン、ベニヤミン、ナフタリ、エジプト、クシュ、ソロモン、セバ、エッサイ、サレム、ヨセフ、モーセ、アロン、ツォアン、シロ、メリバ、イシュマエル、ハガル、ゲバル、アンモン、アマレク、アッシリア、ロト、ミディアン、キシオン川、シセラ、ヤビン、エン・ドル、オレブ、ゼエブ、ゼバフ、ツアルムナ、ラハブ、バビロン、エズラフ人、ヘマン、エタン、タボル、マサ、ラッパ、サムエル、イサク、ダタン、アビラム、バル・ペオル、ホレブ、ピネハス、メルキゼデク、メシエク、ケダル、ネゲブ、ヤアルの野、エフラテ、アモリ人、シホン、オグ、シンバル、デボラ、アビノアム、バラク、マキル、ダン、アシェル、タアナク、メロズ、ケニ人、ヘベル、ヤエル。

答えは・・・すべて聖書の中の『歌』に記されている名です。

創世記1章において、まず神が光を昼、闇を夜と名づけています。創世記2章19節には、アダムのところに連れて来られた野の獣が、彼の呼んだ通りの名になったことが記されています。神は「名」をつけるということを大切にしているように思われます。私たちがペットの動物や鳥に名をつける時、赤ちゃんに名をつける時、それが特別嬉しいことだと知ります。名がつけられると、そこに情報を加わり続け、それが多くなればなるほど、名そのものの存在感が増していきます。

そこで考えたいのが、なぜ聖書の歌には人名、地名、民族名などが沢山記されているのかということです。上記のカタカナ名は信仰者や約束の地ばかりではありません。罪ゆえに滅ぼされたソドムとゴモラ、コラとともに神に逆らった人ダタンとアビラムの名もあります。救いの歴史や契約、主の祝福やさばきなどが思い出されます。

例えば詩篇83篇11節のオレブとゼエブ。ギデオンが滅ぼした王の名前ですが、詩篇にあることで、より鮮明に記憶されます。士師記のこの箇所を読む時、ついギデオンの側に自分を置いて読んでしまいますが、元々の私たちはオレブとゼエブの側にいたのだと戒められます。神に選ばれたギデオンのようでありたいと思いますが、彼は兄弟の部族を殺してしまいますし、勝利の後に金の飾りや大勢の妻で失敗しています。オレブとゼエブという名を見た瞬間に様々なことが思い浮かび、自分の歩みを振り返ることになります。神の靈感によって書かれた聖書の「名」にはそのような特徴があるのです。

詩篇には総称である「敵」ということばもよく登場します。理由は申命記 32 章 21 節に記されています。

「彼らは、神でないもので わたしのねたみを引き起こし、彼らの空しいもので わたしの怒りを燃えさせた。わたしも、民でない者たちで 彼らのねたみを引き起こし、愚かな国民で 彼らの怒りを燃えさせる。」

イスラエルは自分たちを救ってくださった神のことばに従わず、かえって偶像に仕えるようになりました。上記のみことばの約束により、イスラエルには敵が常にまわりついています。この「敵」は私たちと何か関わりがあるのでしょうか。私たちにとっての、そして神にとっての究極的な「敵」とはだれか。創世記 3 章 15 節で神から敵意を置かれて以来、ヨハネの黙示録まで常に見え隠れしている「その大きな竜、すなわち、古い蛇、悪魔とかサタンとか呼ばれる者、全世界を惑わす者(ヨハネの黙示録 12 章 9 節)」と思わずにはられません。「敵」について歌う毎にイエス・キリストによる救いのみわざに感謝せずにはられません。

「みことばは人を救い成長させる力がある。」これは繰り返し教えられてきたことです。カントライの目的は宣教ですので「預言する歌」を歌いたいと思っています。

「預言する歌」とは、神様のみこころをそのまま伝える(モーセのように)歌だといえます。一番シンプルなのが、みことばを歌う歌でしょう。みことばですから、教える力のある歌です。耳触りの良いことだけではなく、聞きたくないと思われるようなことも含まれます。神が知らせようとしていることを私たちが隠したり、曲げたり、加えたりしてはなりません。

ここ数年はことばの意味が少しでも伝わるように、聖書の解説とともに歌うことが多くなりました。創造から始まって墮落、契約、救いの預言、キリストの降誕、受難、復活、聖霊降臨、天の御国等、少しでも理解していただけるように努めています。教会が委ねてくださった貴重な時間を大切にし「預言する歌」をうたいつつ、主のことばに委ねます。

「しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。」ヨハネの福音書 14 章 26 節

日本において、はっきりとした言葉(聖書)で福音を聞く機会は、決して多くないのです。与えられた一回一回に、一つでも多くのみことばが聞く方々の心に残りますようにと、祈りつつ奉仕しています。

「私は あなたのおきてを喜びとし

あなたのみことばを忘れません。

あなたのしもべに豊かに報い 私を生かし

私があなたのみことばを守るようにしてください。」詩篇 119 篇 16 節

(エヴァンゲリウム・カントライ団員、追浜聖書教会音楽主事)

【近況報告】

コロナウイルス感染の恐れによって、エヴァンゲリウム・カントライは賛美の練習が再開できない状況が続いています。引き続き Zoom での個人レッスンと月に一度 Zoom での団員の交わり会をしています。個人練習は、一人ひとりに課題が与えられ練習しています。練習の成果の発表の場として、12月10日にミニコンサートを Zoom でいたしました。ジュネーブ詩編歌を各自1節ずつ賛美し、主のみことばを深く学ぶ時となりました。なお今後の状況は不透明ですが、練習が再開でき、予定されている演奏会ができますようにお祈りしていただけると感謝です。

事務局から

☆ 活動予定

2022年6月4日(土) 前橋キリスト教会演奏会
12月10日(土) 九十九里教会クリスマスコンサート

* 今後の状況によって変更の可能性がありますので、ご確認をお願いいたします。

☆ 献金(2021年9月-11月) ()内の数字は件数です。
尊い献げものをありがとうございました。感謝をもってご報告いたします。
(敬称略)

<賛助会>

(教会) 前橋キリスト教会(3)、東京聖書教会(4)、浦和福音自由教会(3)
北栄キリスト教会(1)、川越聖書教会(1)、長津田キリスト教会
札幌希望の丘教会

(個人) 石川證、高張美恵子(3)、潮田徹、飯島勅・千雍子(3)、大嶋清、尾原光彦

<献金>

(教会) 湘南ライフタウンキリスト教会(2)
(個人) 匿名、団員

編集後記

主イエス・キリストのご降誕をお祝い申し上げます。コロナ禍で迎える2回目のクリスマスになりますが、皆様の教会ではどのような主のご計画がなされておりますでしょうか。この一年間、カントライをお支えくださってありがとうございました。福音の希望が与えられていることに感謝いたします。We wish you a Merry Christmas! (事務局)